

男はつらいよ 望郷篇

観賞日 2025 年 6 月 9 日 上映時間 88 分

【概要】

制作 1970 年 松竹
監督 山田洋次
脚本 山田洋次・宮崎晃
原作 山田洋次
音楽 山本直純
撮影 高羽哲夫



出演 渥美清（車寅次郎）、倍賞千恵子（さくら）、前田吟（諏訪博）、森川信（車竜造）
長山藍子（三浦節子）、井川比佐志（木村剛）、杉山とく子（三浦富子）
笠智衆（御前様）、津坂匡章（川又登）、松山省二（石田澄雄）

【あらすじ】

夢でみたおいちゃんの不幸が心配になり故郷柴又に帰った寅さん。おいちゃんの様子が本当に悪いと勘違いし大喧嘩になる。そこにかつての舎弟の登がやって来て、札幌の政吉親分が重病で、寅さんに会いたがっていると話す。義理人情に篤い寅さんは札幌に急行。政吉親分は寅さんに会ったこともない息子の搜索を頼む。小樽でようやく探し当てた息子は自分を棄てた父親に会おうとしない。渡世人の哀しい末路をみた寅さんは、やくざ稼業から足を洗い地道でまっとうな暮らしを始めようと決意する。寅さんは柴又の近くの浦安で豆腐屋に住み込み額に汗し油にまみれて懸命に働く。豆腐屋の娘の節子に片思いした寅さんは、節子にこのままずっとここで働いてといわれ勘違いするが、節子には木村という結婚を約束した相手がいて・・・。

笑って泣かせる人情喜劇の決定版。今回は地道な生活にあこがれる寅さん。

【解説】

■ポイント

- 第5作：望郷篇
 - ・ロケ地：北海道（札幌・小樽他）、千葉県（浦安市）
 - ・ゲスト：長山藍子（マドンナ）、井川比佐志、杉山とく子
- 映画「男はつらいよ」シリーズの前身となるTVドラマ
 - ・放送：1968年10月～1969年3月、フジテレビで26回放送
 - ・スタッフ：演出・小林俊二、脚本・山田洋次
 - ・キャスト：寅次郎・渥美清、さくら・長山藍子、おいちゃん・森川信
おばちゃん・杉山とく子

■見どころ

- やくざ稼業と地道な暮らし
 - 断腸の思いで登と縁を切る寅さん
 - 足を洗いたくても、洗えない寅さん
- 新旧さくらの対面
 - テレビドラマのさくら（長山藍子）と映画のさくら（倍賞千恵子）
- まだやくざ色の残るこの頃の「男はつらいよ」シリーズ
 - 1970年当時はまだ、東映やくざ映画の全盛時代